

長畝ふるさと通信



【2021年10月号】

■ 新之助には参った

組合では今年で3作目となった新潟県の新品種「新之助」。コシヒカリよりも単価が高いことから、R1年は2ha、R2年は3.8ha、今年はコメ相場が下落する中で売上高を稼ごうと9haにまで栽培面積を拡大したのです。R2年産は平均反収も8俵あって、今年は大いに期待したのですが・・・

刈取前の稲姿は着粒数がどこか寂しい、収穫してうす摺をしてみたら「割れ米」が目立つ。嫌な予感はお的中し、検査に出した約600俵強は全て「胴割れ米」として「2等米」となっていました。新之助はブランド力を高めるため「1等米」しか新之助として認められず、2等米になった新之助は、もはや新之助ではなくなり「その他のうるち米」として買取価格も1俵 15,200円が8,700円と半額近くまで下げられてしまいます。損失額はおよそ400万円・・・参りました。

コシヒカリよりも生産コストが高く、栽培管理も煩雑な品種だけに、この結末は予想していませんでした。「胴割れ米」になった原因は出穂後の高温障害や日照不足、肥料切れや仕上げ冠水の失敗などいくつかの要因が重なったためと見ていますが、時すでに遅し・・・。



- 皿にあけた玄米に目視で拾い上げただけで左のような割れ米がありました。



食味計での計測結果は左の通りです。食味値は「82点」と及第点を確保しており、見た目もきれいなのですが・・・。胴割れ米が多いと精米したときに米粒が割れてしまい、食味が悪くなるそうで、格落ち原因としては最悪です。来年以降どうするか、頭痛の種が増えました。

■ 覚悟

ふるさと通信4月号で地元のおけさ柿団地が霜害で壊滅的な被害を受けたことを紹介しましたが、これが収穫最盛期の園地です。いつもならオレンジ色のおけさ柿がたわわと実をつけているはずが、今は緑の葉っぱばかりで実は数えられるほどしか付いていません。コメの減収も重なってダブルパンチを受けた百姓は心が折れかかっていたはず。

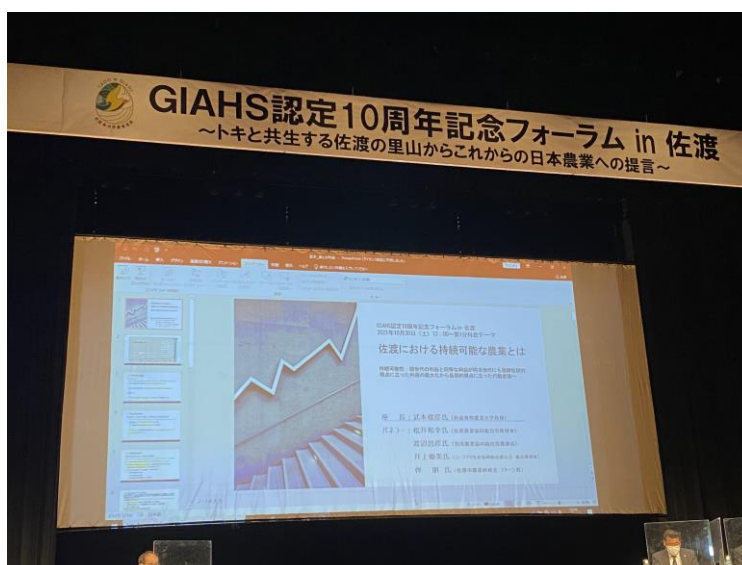
ところが先日、柿組合の集会があって霜害対策として園地全体に「防霜ファン」を設置する計画が提案されました。設置費用はおよそ1億3000万円、30年ローンだそうです。柿生産者も高齢化が進み、まして後継者に至ってはコメ生産者より厳しい状況ですから、将来にわたって不安の声も多く、躊躇され



ました。「たった2時間の霜で園地は甚大な被害を受けた。これからも霜害が起きない保証は無い。将来に向けて安心して生産活動が続けられるよう最善の策を打とう！」という百姓魂の叫びに相当な覚悟を感じました。防霜ファン設置計画は来春の総会で決議されるそうです。コメ百姓もコメの消費離れ、相場の下落に抗っていかねばなりません。ソートーな覚悟が必要です。

■ 世界農業遺産「GIAHS」10周年記念フォーラムに参加して

10月29日～30日にかけて「GIAHS認定10周年記念フォーラム」に参加しました。平成23年に先進国では初めて国連食糧農業機関(FAO)が「トキと共生する佐渡の里山」を世界農業遺産に認定しました。日本では石川県能登など11地域が認定されています。農業遺産とは、かいつま



んで言うと「伝統的な農業を通じて、そこで暮らす人々と文化や多様性を評価し、持続的にその地域を活性化させていきましょう」といった感じでしょうか。認定されて10年、佐渡は特別変わってはいません。ジアスを有効活用しているとも思えませんが、フォーラムのサブタイトルには「これからの日本農業への提言」となっていました。記念講演や基調講演を拝聴し

ていると、今何かと話題の「SDGs」に絡めて地球温暖化対策となる2050年「カーボンニュートラル」に向け、佐渡から農業の形を変えていこうみたいな趣旨でした。コロナ後は「脱炭素社会」「循環経済」「分散型社会」に移行すべきで、2030年までの今後10年間で持続可能な未来を導く決定的な期間になるそうです。環境省は大都市集中型から「分散型地産地消」への転換をはかり、100か所の先行地域を作る計画もあるとの事で、佐渡はそれに先駆けて取り組みたいと佐渡市長も意気込んでいます。

では、具体的に何をどうするかというお話にはならず、これからみんなで考えましょう的な丸投げフォーラムの印象でしたが、本当にあと10年で何が変えられるのでしょうか。環境にも配慮しつつ経営が安定し(多少は儲かって)、有能な後継者がどんどん育っていく農業って…

柿組合の刺激もあって「持続可能で新しい百姓の形」を考えていきたいと思っています。



■ 令和4年産米は

稲刈りを終えた田んぼは祭りの後のように何処か寂しい。来年に向けて稲わらをトラクターですき込み、仕上げに最後の畔草刈りをして「1年間ご苦労様、来年もよろしく」と田んぼに話しかける。来年はアフターコロナの時代になるのだろうか、新しい政権に期待してもいいのだろうか。いやいや、誰かに頼っていたらちっとも前には進めない。

「自分たちの故郷は自分たちの手で守り、引き継ぐ」組合のスローガンを思い出して

ガンバロー。

…個人的には「頑張らないことを頑張ろう」といつも思っていますけど…